

高知憲法速報

№147 2008. 3. 6

発行：高知憲法会議事務局

088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

新憲法同盟、自民党と民主党の幹事長を顧問に 3月4日「読売新聞」記事より

超党派の国会議員らで作る「新憲法制定議員同盟」(会長・中曽根康弘元首相)は4日、国会内で総会を開き、自民党の伊吹、民主党の鳩山両幹事長らを顧問とする新役員体制を決定した。両党幹事長の参加を得て、衆参両院の憲法審査会を早期に始動させるよう、与野党への働きかけを強化する方針だ。議員同盟には、自民、民主、公明、国民新の各党などから議員191人が参加している。昨年11月に4人だった民主党議員は、鳩山氏や前原誠司副代表らの入会で14人に増え、前原氏と田名部匡省、渡辺秀央両参院議員は副会長に就任した。自民党からは、議員同盟の副会長である二階総務会長、古賀誠選挙対策委員長に加え、伊吹氏と谷垣政調会長も新たに顧問に迎えられ、党四役が全員、議員同盟の役員となった。

議員同盟は今後、憲法審査会の始動を求める国会議員の署名活動に引き続き取り組むほか、5月1日に大会を開催する予定だ。

中曽根氏は挨拶で、「憲法問題が冷えている最中に超党派の皆さんが参加したということは、国会議員の中に根強い憲法改正へのエネルギーが充満していることの証拠だ」と強調した。伊吹氏は「憲法審査会が動く状況を作りたい」と述べた。

鳩山氏は、この日の総会は「予算審議を巡って与野党が対立している今の状況では参加できない」として欠席したが、4日午後、記者団に対し、「今国会で憲法審査会が動き出す可能性もある」と語った。

海外派兵恒久法学習会について

上記マスコミ報道のように、改憲原案の調査権限を持つ「憲法審査会」を始動させて「明文改憲」をねらう動きが活発化しています。一方、政府の判断で武力行使可能な自衛隊海外派兵ができるよう恒久法を制定する「立法改憲」の動きも本格化し、二正面突破の作戦に出ています。憲法をめぐる情勢と海外派兵恒久法の問題点についての学習が急がれます。

東京・憲法改悪反対共同センター主催・学習会

3月27日(木)18:30～全労連会館 渡辺治さん

高知・県平和委員会主催・学習会

3月19日(水)18:30～高知城ホール 講師：徳弘

署名集約状況 3/6現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		1,778
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,494
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,547
小計		68,050
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	70,230
こうち九条の会街頭署名		6,204

イラク侵略戦争開始5周年の取り組み

2003年3月20日に始まったイラク侵略戦争で、最大39カ国が参加した多国籍軍は現在21カ国に半減し、駐留継続国の中でも撤退・削減を予定している国が多数となりました。一刻も早く、イラク民衆の殺戮を続けているアメリカの撤退を求めなければなりません。5周年の今年、イラク戦争・有事法制反対高知県連絡会が次の取り組みを計画しています。

フラスター宣伝と街頭演説 (北部環状線)

3月20日(木)13時から14時 イオン高知前

DVD「西谷文和イラク戦場からの告発」を見る会

3月20日(木)15時～17時 高知城ホール

